



バーロー ヒロインズ

2

成年向け

QIezmoe
Quality



「(ああん……もう！暑くて眠れない……！
クーラーつけたいけど……ダメダメ。節電しなきゃ！

……でも私、ちょっと脱ぎ過ぎ……。
お尻ちよっと出ちゃってるし……。
また、こないだみたいに……。
ヤラしい夢見ちゃったらどうしよう……。」



「うふふっ♪らあん？ おかえり！ ご飯にする？
お風呂にする？ それとも…あ・た・し？」
「…ごめん。私、またやらしい夢見て…園子に
イヤらしい格好させちやった…」

「なあに氷くさい事言ってるのよ！
私と蘭は夫婦なんだから、
ラブラブで当然！」「ふ…夫婦！？」

「違うもん！蘭お姉さんは私たちみんなの奥さんなの！
私も…蘭お姉さんのこと…大好きだから…」

「だ…ダメよ！まだ！それに、これじゃ…
奥さんって言うより…私がママみたいじゃない…？」

「ひどい！歩美もまだちっちゃいけど…立派な恋だもん！

そんな事言うのなら歩美…哀ちゃんとは結婚するからいいもん！」

「ええっ!?!」





「あらあら。私…吉田さんから
そんな風に思われていたなんて。モテる女は罪なのね」
「あ、哀ちゃんまで…。私の奥さんになりたいの…?」

「ええ。お姉ちゃんみたいに優しいから…。
それに、私だって大人の女なんだから…
抱かれて安心したい夜だってあるわ」
「え…?えっ…?」



「おっと。今からでも花嫁争奪は間に合うのかな」
「せ…世良さんまで！？確かに、ちよつとそのケは
あつた氣したけど…」

「あははっ！分かつちやつてた？これじゃ探偵失格だなあ。
じゃ、見破つたご褒美に私の発展途上な胸と……をあげる」
「…これから成長するんでしょうね？」

「ちよつと！一夫多妻なんて日本じゃ認められていないのよ？
それに、夢とはいえ、私をこんな格好にさせて…許せないわ」



「きやつ！佐藤刑事！わ…私、夫じゃないんですけど。
…あ、ちなみにもう高木刑事とは…」
「…それ以上聞くと、本気で撃つわよ？」
「う、ごめんなさいっ！」

「あ…あれ？なんで私、裸に…」

「あ…えっと。確か、千葉刑事の幼なじみの婦警さんだっけ…？」

「はい！三池苗子です！あの…なんで私、裸にされてるんでしょうか？」

「…ごめんなさい。私の夢なんです。」

「今度会ったら、心の中で謝っておきます…」





「ああん！そつうです！あ…謝つて下さい！なんで、一回会っただけの私まで、裸にされなきゃならないんですか？」
「えつと……。確か、メイドさんよね？」
結局、犯人じゃなかった…！」

「当たり前じゃないですか！何で私が夢の中に
出てくるんです！？そんなに印象に残りましたか！？」
「そうね。顔とか声とか…！」

「フツ……。女のくせに女にデレデレするなんて。だいたい男に
「無沙汰なんじゃないやありませんの？」
「あ、貴女……誰？」

「知らないのも無理はないですわね。
でも、いずれ知る事になるでしょう？
偉大なる魔女であるこの私を！オーホッホッホ！」





「毛利さん。気をつけて。これは
怪盗キッドから、貴女へのプレゼント
かもしれないわ。いつも寂しい思いを
している貴女へ、浮気にならないよう
気を使った贈り物なのよ」

「あ、貴女は…？テレビで
見た事あるような…」

「通りすがりの魔術師よ」

「き…きゃあああっ！蒼子…裸にされてる！キッドの仕業っ？

蘭ちゃんの仕業っ？」

「あ…蒼子ちゃん！やっぱりこれって…
怪盗キッドの仕業なの？でも、どうして…」





「キツドの仕業ちやうで……？これは蘭ちゃん願望……。
ほら、新一君も平次もホツといて……私らで愛しあお……」

「か……和葉ちゃん！確かに……和葉ちゃんとだったら……
たくさん分かりますかもしれない」
「い……イクっ！イクで……蘭ちゃん！好きや……！
好き好きい！……イツクうううううううう！……」



「ほら、分かった？蘭さんは…私達
女に愛されたほうが幸せになれるの。
シチュ…」
「あれ…貴女は…？
哀ちゃんに似てるけど…」

「蘭お姉さんは知ってるんだよ？
みんなで幸せいっぱいになる方法を！シチュ…クチュ…」
「あんっ！そう…。そうなの…？
私が幸せになれば、みんなも幸せになれるの…？」



「気づくのおっそ〜！そうよ？あんな推理オタクほっとして、
女は女と幸せになればいいのよ？蘭とだったら…
絶対みんなOKするから。親友の私が保証する」
「園子オ…。ンウ…」

「ンブ…ツ！ほんと…こんないい女…
どこ探してもいないんだから。愛してるわ…蘭…」
「園子…！私も園子が好き！哀ちゃんが好き！
みんなが好き…！あ…愛してる…！」

「ああん！いい…イキそうッ！イクッ！
イツちゃう！イツクッ！イツクッ！イツクッ！
イツクッ！イツクッ！イツクッ！イツクッ！

「新一い…？確かにみんなの言う通りよ…。
このままあんたが迎えに来なかつたら…。
私、未亡人みたいじゃない…？…バカ」



あとがき

お疲れ様でした！今回は、約1年ぶりのコナン本です。

皆さんご存知の権利関係で、取扱いを断られた書店さんもありましたが(苦笑)、おかげ様で今回はとても好評でしたo(^-^o

僕も10年来のコナンファンなので、嬉しい限りです。

今回は、最近コナンのアニメを見ている人にも楽しんで買おうと、時々やる怪盗キッド系のキャラや、新キャラなどを入れたので、馴染みがないという方もおられるかと思います(´-`)；)

僕もおっさんなので、土曜6時に久々見て、新しくも懐かしいコナンワールドを体感してみました。

さて、せっかくのコナン本なので、僕も名推理ならぬ名論理(?)を繰り広げてみたいなあと思います。それは、コナンの同人に関わる例の問題の、更にその先にある真の意味についての推測です。

コナンの出版元が権利に厳しいのは言わずと知れた話です。

(分からない方はぐぐって見て下さい)

今はネットや外国が絡み、昔よりどの出版社も頭を抱える問題になったかと思います。

出版社が権利を維持する事で得られるお金は、いわば作品の自由を決めるようなもの。

例えば、力の強いスポンサーが、弱った出版社の運転資金をほとんど出す…という状態になったとしたら、出版社は船の舵を自分で握れなくなったようなものです。

利益さえ出せば問題はないでしょうが、結果主義となり、似たようなヒット作ばかりが出て、多様性を失い、業界全体が沈んでいく可能性もあります。

だから、権利自体はとても大事な事なのですが、コナンの出版社さんが他の出版社さんと少し違うな…と思うのは、エロにおいては「子供が見るものだからダメ」という理由があるように思えます。

● 京都のゲーム会社さん同様、子供が見る作品はアウト。

健全なら良いかもしれませんが、その境界線を上手く敷けずに、今に至っていると思います。

では、ここから核心です。

僕はエロに携わる人間ですが、陵辱ものは描きません。

でも、AVもエロ漫画も、ほとんど全てが陵辱ものです。

僕が女性だったら、恐くて仕方がないかもしれません。

レイプという犯罪行為を、架空のお話とはいえ、男性が好き好んで見ているのだとしたら…。

● おそらく、男性向けのエロそのものをアングラに追い込んでいく事を望むでしょう。

● もし世の中がそうになっていくとしたら、男性は一人でああこうするのもKYになってしまいます。

● 現に男性向け同人の世界も、健全同人誌が増えています。

● エロに関する世論は、当たり前ですが恥ずかしい話なので、全く手つかずか、全て取り締まりという乱暴な2択になりがちです。

でも、本来は中身を審議し、規制をかけていくべきだと僕は思います。

例えば、児童ポルノについては軒並み規制の流れですが、もっと根本は別にあって、「男性が女性の同意無しに、無理やり性行為をする」描写を議論したほうがいいのでは…と思います。

● 逆にモザイクなんかは何のために必要なのか理解できませんし(笑)

● この辺について、もっと議論した上で、例の権利についても話して欲しい…というのが僕の見解です。

● やっぱ男性は、喜んでエッチをする女性より、苦しんだり自分の意志を破壊されてエッチしてる女性の様を見るのが好きって流れがあるようで、エロってストレス発散だから仕方ない…と思いつつも、このままじゃエロがますます世間から孤立しそう…と心配になってしまうのです。

でも結論はひとえに「愛さえあれば」って感じですよ(´▽`)

● エロ=陵辱ユーザーが大半の中で、自爆行為な発言だと思いますが、コナン本な時点でもう危険な橋は渡っていますし(´-`)

では、また機会がありましたら～

読んでたら眠くなってきた!!

● 誌名: バーローヒロインズ2 製作: 黒 お湯の香り

● サークル: レズ萌え! 印刷所: 母淫印刷

● 発行日: 2013年3月8日 レズ萌えコミックス84

● ※この本は成年向けです!

● 連絡先 aperitif.itou@gmail.com

● サイト <http://rezumoe.o.oo7.jp/r18stop.htm>

